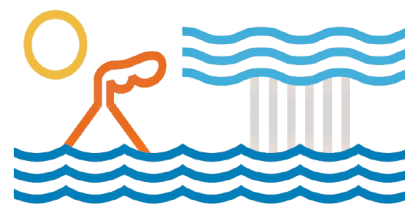


# 脱原発社会への道

緊急学習会（連続講座第7回）



原発問題連続学習会

## 原発事故避難者が 求める支援策と わたしたちにできること

2017年 **1月11**日（水）18:30~20:30（開場18:00）

@なごやYWCA 4F会議室

（地下鉄東山線・名城線「栄」駅⑤出口より東へ3分）

講師：滝川裕康さん

（愛知県被災者支援センター・スタッフ）

参加費

500円

中学生以下及び原発  
事故避難者は無料

申込不要

<内容> 愛知県被災者支援センターの活動を知ってもらうことで、今後の原発事故避難者の支援策と、また起きるかもしれない原発事故への防災の立場での対応を考えるきっかけとなるような講演会とする。

福島原発事故による避難区域外からの自主避難者（約1万5千世帯）の多くは、現在、災害救助法に基づく「借り上げ住宅制度」により住宅の無償提供を受けています。しかし、福島県は今年3月末でこれを打ち切ることを決め、代替措置である最大3万円の家賃補助も段階的に減らし、再来年以降はそれすらも打ち切る方針です。放射能汚染の残る福島に帰れず避難を続ける人たちは、ただでさえ長引く避難生活で疲弊している上に、経済的にも追いつめられることになります。

これに対し、全国で住宅支援の継続を求める取組みが行われています。議会で無償提供の継続を求める意見書を採択したり、避難者を受け入れている自治体の中には、独自に住宅支援の継続を決めたところもあります。

愛知県も約400世帯の避難者を受け入れています。愛知県の取り組みはどうなっているのでしょうか。今回は、愛知県被災者支援センターの立ち上げに関わり、元センター長を務めた滝川さんから話をうかがい、市民としてどのような支援ができるかを考えたいと思います。

主催：未来につなげる・東海ネット

<http://tokainet.wordpress.com>

名古屋市瑞穂区関取町146

☎ 080-5102-5872（安楽）